

新藤経産副大臣が来千 北原電牧千歳工場を視察



北原社長から説明を受ける新藤副大臣(右)

新藤義孝経済産業省副大臣が二十五日、北原電牧(本社札幌市、北原慎一郎社長)の千歳工場(千歳市北信濃)を視察した。同省と農林水産省が進める、農商工連携による先駆的企業として視察し、同社が開発した酪農家向け自動給餌装置の効果などに認識を深めた。

同社は、牛の体調や乳量に合わせて自動的に餌を与える装置を開発。手作業に比べ給餌時間の大幅短縮で、規模拡大や農業者のゆとりにつながられる。装置を組み立てる千歳工場で、北原社長が酪農家の現況などを紹介しながら「省力化や乳量

増加は想定範囲だったが、酪農家の生活が変わって、非常に良かった」と、装置導入の効果を説明した。

新藤副大臣は、道内八千力所の牧場のうち百四十牧場の導入にとどまっている現状から「普及には何か必要か」「組み立て時間は」など熱心に質問。視察後、「(農業者の)生活の変化が夢を与えることにつながる。効率化追求だけでなく、温かい気持ちになる人間味ある機械だ」と印象を述べ、「農業を強くするため、農商工連携で新しい仕事を応援していきたい」と話した。